株式会社レクセス

エコアクション21
認証番号0011586

2022年度　環境経営レポート

（対象期間：2022年10月～2023年9月）

ReCCES

豊かな地域を災害から守り
安心・安全な暮らしに貢献します。

発行日：　2023年11月15日
改訂日：　2023年12月5日

目　　次

Ⅰ ごあいさつ ---------- 1
Ⅱ 組織の概要 ---------- 2
Ⅲ 認証・登録の対象範囲 ---------- 3
Ⅳ 主な環境負荷の実績 ---------- 4
Ⅴ 環境経営目標及びその実績 ---------- 5
Ⅵ 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取り組み内容 ---------- 7
Ⅵ-2 EA21取り組みの実施の成果結果 ---------- 9
Ⅶ 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果 ---------- 10
Ⅷ 代表者による全体の評価と見直し・指示 ---------- 11
Ⅸ 環境活動の紹介 ---------- 12

Ⅰ．ごあいさつ

株式会社レクセスは、平成20年の設立以来、土木工事・防災工事を通して豊かな地域社会の安全・安心に貢献してまいりました。
全従業員が地球環境の保全、地域環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めてまいります。
社員一同、美しく豊かな国土の維持、さらに、人と環境がやさしい気持ちで共存できる社会を目指して取り組んでまいりますので、よろしくお願い申しあげます。

環境経営方針

当社の経営理念である斜面防災に関する技術で地域の安心・安全に貢献することを基本理念とし、事業実施において環境負荷の継続的な低減に努め、地球環境の保全に取り組み、持続可能な社会を構築していくために、自主的かつ積極的に環境への取り組みを行います。

1．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

2．事業活動における二酸化炭素排出量の削減を推進します。
（電力、ガソリン、灯油、軽油）

3．本社事務所における一般廃棄物の適正な削減・処理を行います。

4．建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進し、産業廃棄物分別することでの排出量削減と適正な処理を行います。

5．本社事務所での水道使用量の削減を推進します。

6．建設現場における環境配慮型機器、資材・機材の使用の促進を推進します。

7．建設現場周辺の環境美化の活動を積極的に実施します。

8．本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：　2015年10月1日
改訂日：　2016年6月27日
改訂日：　2022年10月15日

代表取締役社長　目　耕治

Ⅱ. 組織の概要

（1） 名称及び代表者名
株式会社レクセス
代表取締役　目　耕治

（2） 所在地
本　　社　　〒679-2144　　兵庫県姫路市香寺町中屋２４番１号
資材倉庫　　〒671-2103　　兵庫県姫路市夢前町前之庄3295-1地内

（3） 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者　　管理部長 伊藤　英男　　TEL:079－280－3730
担当者　　総務部　清瀬　知恵子　　FAX:079－232－8001
Email:h-ito@rexes.co.jp

（4） 事業内容
特定建設業　　兵庫県知事　（特－１）第４６０５１８号
令和２年２月１０日から令和７年２月９日
土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業

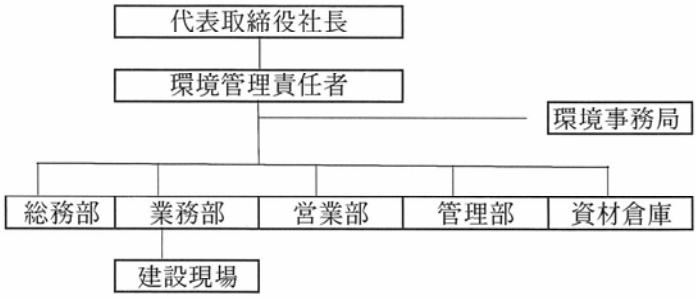
一般建設業　　兵庫県知事　（般－１）第４６０５１８号
令和２年２月１０日から令和７年２月９日
さく井工事業

（5） 事業の規模
設立　　2008年3月21日
資本金　　４０００万円
売上高　　３０１百万円（2022年度実績）

各事業所の規模

	本社	資材倉庫	合計
従業員	8名	無人	8名
延べ床面積	98.0㎡	38.0㎡	136.0㎡
敷地面積	98.0㎡	325.0㎡	423.0㎡

（6） 組織



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営の実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営の課題とチャンスの整理、明確化の実施
環境管理責任者	・環境経営の構築、実施、管理、 ・環境関連法規制等の取りまとめ表の確認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・緊急事態対応手順の訓練を実施、記録の作成 ・全部門の従業員に対する教育訓練の実施
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成　（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営活動の実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 （現場代理人）	・建設現場における環境経営活動の実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

（7） 事業年度　　１０月～翌年９月

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名：　株式会社レクセス
対象事業所：　本社，資材倉庫
活　　動：　土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、さく井工事業

Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項　目	単位	2014年度	2015年度	2016年度			
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	57,637	67,902	63,822			
電力	kWh	15,942	23,519	20,198			
ガソリン	L	16,729	24,073	21,385			
軽油	L	4,938	1,405	2,810			
灯油	L	196	179	20			
廃棄物排出量	トン	45.0	55.0	9.0			
一般廃棄物	トン	0.7	0.9	0.7			
産業廃棄物	トン	44.1	54.0	8.7			
総排水量	m^3	61.5	77.0	57.0			

項　目	単位	2017年度 基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	87,144	99,271	51,269	79,048	38,418	25,746
電力	kWh	17,627	9,744	12,535	11,489	8,864	8,900
ガソリン	L	21,071	18,695	14,178	14,038	12,336	9,721
軽油	L	11,892	19,852	5,398	16,240	2,520	78
灯油	L	430	196	0	0	78	0
廃棄物排出量	トン	18.1	9.5	8.9	27.2	4.9	3.6
一般廃棄物	トン	0.8	0.6	0.5	0.2	0.5	0.3
産業廃棄物	トン	17.3	8.9	8.3	27.0	4.4	3.3
総排水量	m^3	51.5	54.5	48.5	67.0	62.5	63.0

Ⅴ. 環境経営目標及びその実績

（1）中期目標

	項目 ＼ 年度		2017年度 基準年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全社	Ⅰ. 二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	87,144	85,401	84,530	83,658	82,787	82,787
		対基準	100%	98%	97%	96%	95%	95%
事務所	電力使用量削減	kWh	10,587	10,375	10,269	10,164	10,058	10,058
		kg-CO_2	3,536	3,465	3,430	3,395	3,359	3,359
		対基準	100%	98%	97%	96%	95%	95%
建設現場	電力使用量削減	kWh	7,040	6,899	6,829	6,758	6,688	6,688
		kg-CO_2	2,351	2,304	2,281	2,257	2,234	2,234
		対基準	100%	98%	97%	96%	95%	95%
	ガソリン使用量削減	L	21,071	20,650	20,439	20,228	20,017	20,017
		kg-CO2	48,920	47,941	47,452	46,963	46,474	46,474
		対基準	100%	98%	97%	96%	95%	95%
	軽油使用量削減	L	11,892	11,654	11,535	11,416	11,297	11,297
		kg-CO2	31,209	30,584	30,272	29,960	29,648	29,648
		対基準	100%	98%	97%	96%	95%	95%
	灯油使用量削減	L	430	421	417	413	409	409
		kg-CO_2	1,128	1,106	1,095	1,083	1,072	1,072
		対基準	100%	98%	97%	96%	95%	95%
全社	Ⅱ. 廃棄物排出量	トン	18.1	17.7	17.5	17.3	17.3	17.3
		対基準	100%	98%	97%	96%	96%	96%
事務所	一般廃棄物削減	kg	756.4	741.3	733.7	726.1	726.1	726.1
		対基準	100%	98%	97%	96%	96%	96%
建設現場	現場廃棄物削減	トン	17.3	17.0	16.8	16.6	16.6	16.6
		対基準	100%	98%	97%	96%	96%	96%
建設現場	Ⅲ. 建設リサイクル率の向上	%	51.5%	53.5%	54.5%	55.5%	55.5%	55.5%
全社	Ⅳ. 水使用量削減	m^3	51.5	50.5	50.0	49.5	49.5	49.5
		対基準	100%	98%	97%	96%	96%	96%
	Ⅴ. 環境配慮工法の提案・実施	目標基準	環境配慮型斜面工法の検討	環境配慮型斜面工法の採用	環境配慮型斜面工法の採用拡大	環境配慮型斜面工法の採用拡大	受注２件以上、または、年度内完了２件以上	受注２件以上、または、年度内完了２件以上

注）電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2018年度関西電力公表の
0.334kg-CO_2/kWh を使用。

（2）期間の実績

	項目 ＼ 年度		2017年10月～2018年9月	運用期間における実績（2022年10月～2023年9月）			
			基準値	目標	実績	達成度	評価
全社	Ⅰ．二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	87,144	82,787	25,746	321.6%	○
		対基準	100%	95%	30%		
事務所	電力使用量削減	kWh	10,587	10,058	8,863	113.5%	○
		kg-CO_2	3,536	3,359	2,960		
		対基準	100%	95%	84%		
建設現場	電力使用量削減	kWh	7,040	6,688	37	18075.7%	○
		kg-CO_2	2,351	2,234	12		
		対基準	100%	95%	1%		
	ガソリン使用量削減	L	21,071	20,017	9,721	205.9%	○
		kg-CO2	48,920	46,474	22,569		
		対基準	100%	95%	46%		
	軽油使用量削減	L	11,892	11,297	78	14483.8%	○
		kg-CO_2	31,209	29,648	205		
		対基準	100%	95%	1%		
	灯油使用量削減	L	430	409	0	***	○
		kg-CO2	1,128	1,072	0		
		対基準	100%	95%	0%		
事務所	Ⅱ．一般廃棄物削減	kg	756	726	300	242.3%	○
		対基準	100%	95%	40%		
建設現場	Ⅲ．建設リサイクル率の向上	%	51.5%	55.5%	33.3%	60.1%	×
	①産廃総排出量	トン	17.3	16.6	3.3	503.0%	○
	②再生資源化量	トン	8.9	9.1	1.1	12.1%	×
全社	Ⅳ．水使用量削減	m^3	51.5	49.5	63.0	78.6%	×
		対基準	100%	95%	122%		
	Ⅴ．環境配慮工法の開発と提案	目標	環境配慮型斜面工法の採用	環境配慮型斜面工法の採用拡大 2か所	2か所の完成	100.0%	○
		対基準					

注1) 産廃総排出量及び再資源化量は目標を設定せず、正確に実績をフォローする。

注2) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100％
増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100％

注3) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（90％以上）、×：未達成

＊ 環境配慮型斜面工法とは、工事対象斜面や周辺の自然樹木を極力伐採せずに残して、目的物を作成する工法であり、コンクリートの代わりにワイヤーロープなどを用いる工法が多い。

Ⅵ. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた　○まずまずできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画		達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減			**（目標達成）**
2022年度の目標は82,787kg-CO。 2022年10月から2023年9月にかけての二酸化炭素排出量は25,746kg-CO2で、目標の31％の排出量とどまった。		◎	社有自動車の減少よりガソリン使用量が大幅に減ったことが要因である。現場が近くなったことも要因であるが、社員の退社による社有車の減少が大きい。 また、事務所の電気使用量はＬＥＤの設置・エアコンの使用の効果が昨年に続き表れた。 ★次年度対応：二酸化炭素排出量の低下は喜ばしいが、本年同様に社員の補充による事業の安定化も検討する。
電力使用量の削減			**（事務所目標:達成　　現場：達成 ）**
事務所	・空調温度の適正化 （冷房28℃暖房20℃）	◎	サーキュレーターの使用等によりエアコン全体の使用量が減少した。
	・サーキュレーターの設置	◎	必要な場合に利用している。
	・不要照明の消灯	◎	トイレ・倉庫の不要照明の消灯を徹底するよう心掛けていた。
	・設備の空運転禁止	◎	事務所内に社員がいる場合だけ稼働している。
	・LED照明の利用	◎	常時使用灯は、ＬＥＤを利用している。 ★次年度の対応：事務所関連はより品質良いLEDで継続してゆく。
建設現場	・不要照明の消灯	◎	本年度は弊社での現場ハウスの電気設置はなくなった。
	・設備の空運転禁止	---	本年度は弊社での現場ハウスの電気設置はなくなった。
ガソリン使用量の削減			**（目標達成）**
事務所＋現場	・移動コースの効率化	◎	現場宿泊などにより疲労軽減や安全運転を推進している。
	・アイドリングストップ	◎	ハイブリッド車を5台（全6台）導入、駐車時はエンジンストップ。
	・空気圧、オイル等の点検	◎	定期点検、給油時点検を実施している。 ★次年度の対応：引き続き定期点検の実施を行う。
軽油使用量の削減			**（目標達成）**
建設現場	・重機の空ふかしの禁止	◎	ほとんど確認されないが、今後も周知させてゆく。
	・アイドリングストップ	○	作業上、駆動が必要な場合以外は、ストップするようする。
	・空気圧、オイル等の点検	◎	オイルフェンス付きをリース、給油時のオイル漏れを点検している。
	・排ガス対策重機の使用	◎	基準対応機器・機械を利用していた。 ★次年度の対応：工事契約内容により増減するので、契約時に確認の継続をする。
	★軽油使用量の増減の変動について		軽油使用量は本年度2021年度は2,520Ｌと大幅に低下した。 下請業者の機械で実施する作業は下請け業者の負担としたため、弊社が負担が低下した。下請け業者負担としたため、下請け業者も自らを管理するため、全体では軽油の使用量が低下していると考えられる。
灯油使用量の削減			**（目標達成）**
建設現場	・ストーブの使用基準の作成	◎	冬季にわずかに使用、近年は現場ハウスも電化しエアコンが主流。
	・室温管理（20℃を基準）	△	コロナ感染防止のため、常時一部換気のため、やや温度高め。
	・部屋開放の禁止	×	コロナ感染防止のため、常時一部換気。
	・不在時点火の抑制	◎	長時間不使用の場合、使用はなかった。 ★次年度の対応：火災防止のため、エアコンを主流に検討する。

一般廃棄物の削減			（目標達成）
事務所	・分別によるリサイクル推進	◎	分別は徐々に進んでいる。
	・ミスコピーの防止	○	入力画面を再度チェックして印刷するようにする。
	・裏紙の使用	---	コピー機に支障が出るため、中止している。 ★次年度の対応：事務所での対応は継続実施する。廃棄量は削減されつつある。
産業廃棄物の適正管理			（目標未達成）
建設現場	・分別によるリサイクル推進	△	分別により、リサイクル部が仕分けできるようになってきたが、工事での廃棄物は元請で廃棄に任せているので、最終的な自社廃棄物だけとなり、全量は減少したが、混合廃棄物が多くなり、分別が減った。 ★次年度対応：混合廃棄物でも、鉄材と他の物を分別して廃棄する。
	・保管場所の掲示板設置	○	倉庫がきれいであると分別も良いので、倉庫の整理整頓を重視する。 ★次年度対応：各現場で元請と共に、種類分けした分別容器の設置と、種類別の分かりやすい掲示版（品名を記入）を設置する。
建設リサイクル率の向上			（目標未達成）
建設現場	・分別によるリサイクル推進	△	分別により、リサイクル部が仕分けできるようになってきたが、工事での廃棄物は元請で廃棄に任せているので、最終的な自社廃棄物だけとなり、全量は減少したが、混合廃棄物が多くなり、分別が減った。 ★次年度対応：混合廃棄物でも、鉄材と他の物を分別して廃棄する。
	・建設資材の再利用の推進	△	廃棄物の内、鋼材の分別をしっかりすることで、全体の分別も効果が上がるようにする。 ★次年度対応：鉄材の分別をしっかり行うことで、全体に波及させてゆく。
	・保管場所の掲示板表示	○	今後は特に鋼材の分別をしっかり行う。
水使用量の削減			（目標未達成）
事務所	・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけにより、徐々に徹底されてきた。
	・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
	・清掃時・手洗い時の節水	○	少しずつ節水が進んでいたが、５㎥/月が限界のようである。 ★次年度の対応：水使用に対する意識を継続する。
環境配慮工法の開発と提案			（受注拡大実行中）
現場	・環境に配慮して、斜面の樹木を切らない斜面の安定工法の施工	◎	ワイヤーロープを用いて樹木を残す斜面安定化工法を今年度は２件実施した。 ★次年度の対応：次年度も樹木を残す斜面安定化工法の受注拡大を図る。

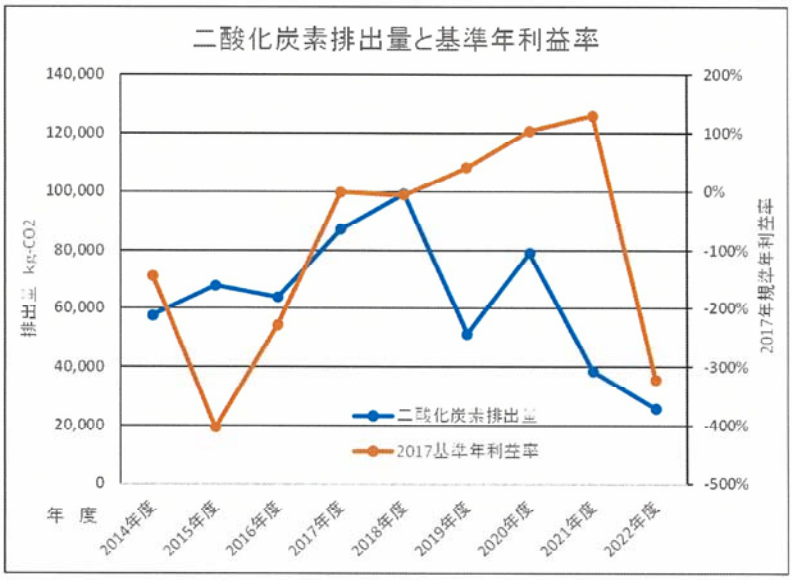
Ⅵ-2. EA21取り組み実施の成果結果

1）二酸化炭素排出量と利益率

二酸化炭素排出量は2017年比の約30％と低下した。低下した要因は自動車のガソリン使用量と軽油の使用量の減少にある。社有車の台数の減少と外注で軽油も含めてことが大きな要因となっている。

利益の低下は、社員の退職によるもので、売り上げが低下したため利益率も大幅に低下した。

今後は、社員の採用や業務のさらなる効率化が求められる。

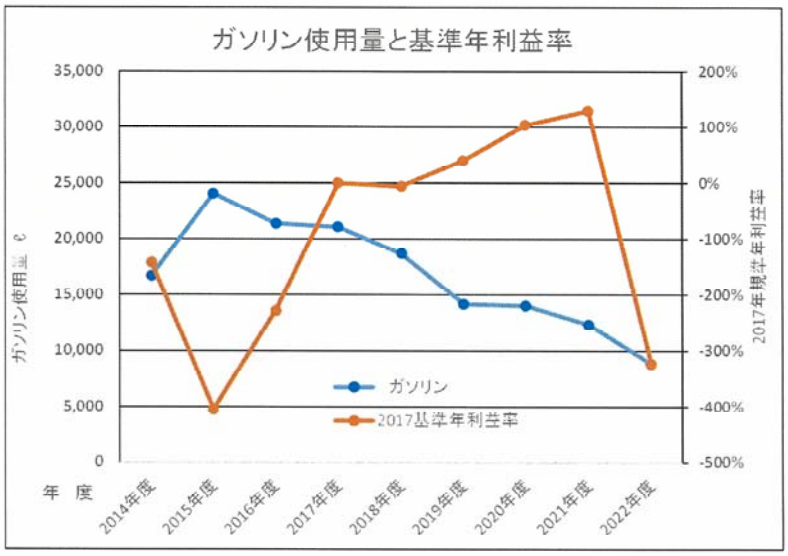


2）ガソリン使用量と利益率

ガソリン使用量は2017年から徐々に低下しているが、今年度はさらに多きく低下した。

低下した要因は社有車の減少、社員の減少である。

社員の減少が売り上げの大きく影響し、利益の大幅な低下につながった。



3）電気使用量と利益率

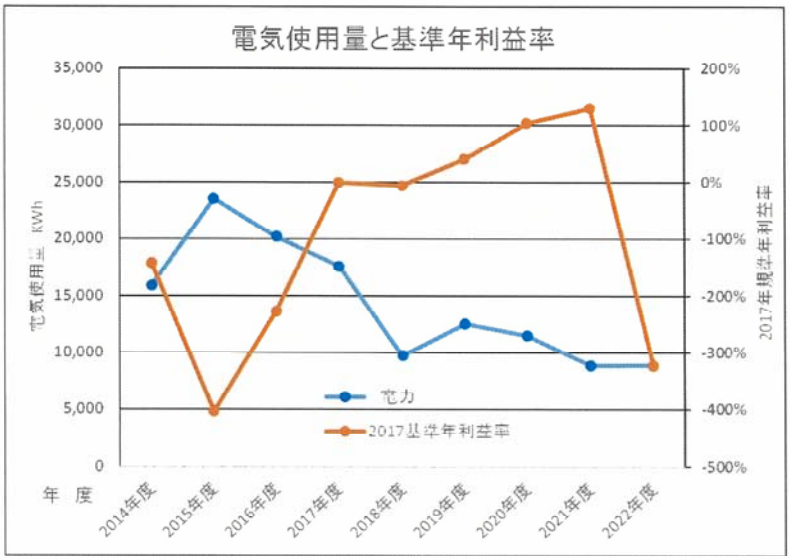
電気使用量は主に事務所での使用であり、ほぼ限界状態に来ていると考えられる。

今回の利益の低下は電気使用量とは大きな関連性はないと判断できる。

まとめ

利益とCO2排出量、ガソリン使用量、電気使用量は相関がある場合もあるが、無い場合もあり、利益と結びつけるのは難しい。

現場条件、現場距離等の影響が大きいと判断できる。



Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	該当なし
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	該当なし
自動車ＮＯｘ・ＰＭ法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者（家電販売店）への引き渡し	該当なし
騒音規制法	杭打機、削岩機、空気圧縮機、バックホウ等を使用する作業	該当なし
振動規制法	杭打機、杭抜き機、ブレーカー等を使用する作業	該当なし
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規定	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
水質汚濁防止法	公共用水域への排出水の排出基準の遵守、特定施設の届出、水質の測定と記録、事故時の届出	該当なし
消防法	（防火対象物）消火設備の点検整備	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器（第一種特定機器）の定期点検、および簡易点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理 機器廃棄後、点検記録等は３年間保管	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去３年間ありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2016年12月28日のＥＡ２１の認証を頂き、本年2023年12月から8年目が始まります。皆様のご指導、ご協力を頂きありがとうございます。今後もＥＡ２１の取り組みを継続してまいります。

本年度も当初はコロナの影響が残っていましたが、途中から緩和されました。しかし、現場では、やはり３密を避けながらの作業となり、夏場は熱中症の危険を回避しながらの作業でした。各対応は現場条件、工種等の違から現場毎での対応でのとしましたが、事故もなく作業が進みましたことに感謝しております。

本年度もガソリン使用量は目標値の50％以内まで削減することができましたが、この要因としましては、現場移動が近くなったことと、社員の退職による自動車の稼働台数の減少が大きく作用しております。二酸化炭素の削減は目標値の30％程度の排出量であったことは喜ばしいことではありますが、会社経営の安定化を考えれば、社員の補充が喫緊の課題となっております。

今後もできることは着実に実施し、会社経営の安定化と共にＥＡ２１に取り組んでいきます。

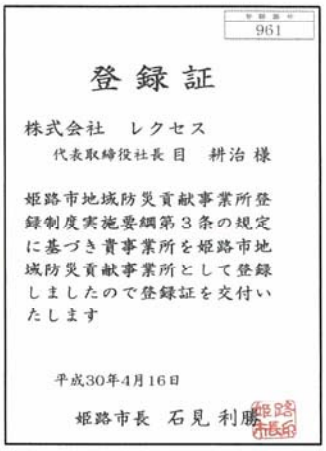
ＥＡ２１の継続と共に、会社の精神『豊かな地域を災害から守り、安心・安全な暮らしに貢献します』をもって、より良い地球環境や自然環境を次世代に残すため、社員全員がＥＡ２１の意義を認識し、エコ活動の輪を広げるよう努力いたします。

項目	見直の要否	見直し・指示内容
環境経営方針	否	現状維持
環境経営目標	否	現状維持
環境経営計画	否	現状維持
実施体制	否	現状維持
その他	否	現状維持

2023年　11月　15日
代表取締役社長　目　耕治

Ⅸ. 環境活動の紹介

株式会社
レクセス
本社



登録証

株式会社　レクセス
代表取締役社長 目　耕治 様

姫路市地域防災貢献事業所登録制度実施要綱第３条の規定に基づき貴事業所を姫路市地域防災貢献事業所として登録しましたので登録証を交付いたします

平成30年4月16日

姫路市長　石見 利勝

姫路市地域
防災貢献
事業所

環境に配慮し、
樹木を残した
斜面防災工事
実施中

令和3年
健康企業宣言
銀の認定証

認定 健組第 702 号 (3)

従業員の健康は企業の誇り
活気ある職場は従業員の健康づくりから

健康優良企業
認定証

銀

株式会社レクセス 殿
(全国設計事務所健康保険組合)

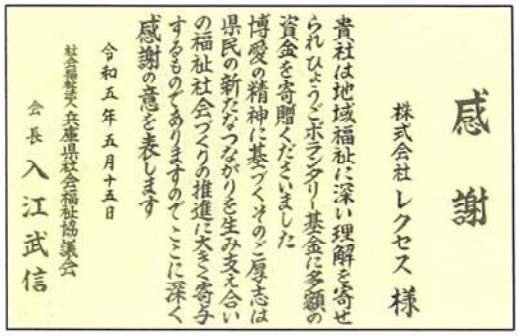
貴事業所は健康保険組合と協力して健康企業宣言を行い健康経営健康づくりの取組みを積極的に行っていることを証します

令和４年６月１日
健康保険組合連合会東京連合会
会長　米川

認定期間 令和４年６月１日～令和５年５月31日

地域貢献
側溝清掃

兵庫県
社会福祉
協議会
感謝状



感謝

株式会社 レクセス 様

貴社は地域福祉に深い理解を寄せられひょうごボランタリー基金に多額の資金を寄贈くださいました博愛の精神に基づくそのご厚志は県民の新たなつながりを生み支え合いの福祉社会づくりの推進に大きく寄与するものでありますのでここに深く感謝の意を表します

令和五年五月十五日

社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会
会長 入江 武信